

救急現場に消防隊も一緒に 出動することがあります。(PA 連携)



119 通報の内容によっては、救急現場に自動体外式除細動器 (AED) などの応急処置資器材を積載した「消防隊」が救急隊と同時に出動し、連携して救急救護活動や人命救助活動などを迅速・安全に行う「PA 連携出動」を実施しています。

PA 連携とは

消防ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) の双方の頭文字から「PA」とされ、全国の消防本部で広く使用されている用語です。

PA 連携で出動する場面とは

- 早期救命処置 (高度な救命処置) を必要とする傷病者が発生したとき
- 階段や通路が狭い場所や中高層建築物 (3 階以上) で救急事案が発生し、傷病者の迅速な搬出・搬送が難しいと判断されるとき
- 交通量の多い道路上や二次災害危険が大きい場所で傷病者や救急隊員の安全を確保する必要があるとき
- 管内の全救急車が出動中となったときに、先行して消防隊が駆け付ける必要があるとき
- その他マンパワーが必要と判断されるとき

住民の皆様のご理解をお願いします。

「救急車を呼んだのに消防車が来た! ?」と驚かれることもあるかも知れませんが、鳥栖・三養基地区消防本部では傷病者の方々を迅速かつ安全に搬送しながら、一人でも多くの人命を救うことを目的として活動しています。

